

第6章 計画推進のために

1 家庭、地域、企業の役割

本計画は、子どもがのびのびと育ち、家庭がいきいきと子育てができるような環境づくりを目指して、行政の取り組みを中心にまとめられています。次世代育成支援は、直接、子どもや子育てをしている家庭だけの問題ではなく、世代を越えた市民一人ひとりにかかわる重要な課題であることを認識することが必要です。

子どもの育ちや子育てを社会全体で支えていくことの必要性を、様々な機会を通じて働きかけていくとともに、行政の取り組みと併せて、特に子育ての基本となる家庭や地域、企業に次のような役割が期待されます。

家庭は、子どもの人間形成に重大な役割を果たします。そのため愛情をもって子育てを行い、子どもの基本的な生活習慣や信頼感、自立心を育てることが望まれます。また、子どもに家庭や社会のルールを身につけさせことも大切なことです。子育てで悩み、負担を感じたら一人で抱え込まず、積極的に心身のリフレッシュに心がけ、家族みんなでゆとりを持った子育てが大切と思います。

地域は、子どもが安全で安心して過ごせるためには、大きな役割が期待されます。地域の子どもたちに声をかけ、子どもたちを知るとともに、子どもたちの居場所づくりが求められます。このため、地域の行事やイベントを積極的に開催し、子どもたちが集まれる機会をつくることが重要です。

また、子どもたち自身が地域の活動等に参加し、地域の大人たちとの関わりを深めるとともに、自治会に参加することにより顔見知りを広げ、地域の大人との関係を深めることも必要とされます。

企業は、職業生活と家庭生活との両立が図れる環境づくりが求められます。昨今の厳しい経営環境や本市には就業人員の少ない事業所が多い状況ですが、次世代育成支援対策推進法に基づき、雇用環境の整備が必要とされます。

また、子どもたちに社会との関わりや就労を考える機会提供を行うため、子どもたちの職場体験や見学の積極的な受け入れが望まれます。

2 関係団体・機関との連携

市民ニーズの多様化やきめ細かなサービスを提供していくためには、行政サービスの充実と併せて、市民やNPO、地域団体などの各種団体との連携・協力をはかりながら進めていく必要があります。

特に、本市は13地区からなる公民館区を中心に地域活動が展開され、各地区には、地域活動の中核となる地区連合自治会やコミュニティ推進協議会をはじめ、子ども会、スポーツ等の団体が数多く組織されています。これらの諸団体との連携協力のもと、本計画を推進できるよう努めてまいります。

また、子育てに関係する団体・サークル等とのネットワークの強化充実を図ってまいります。

3 事業の進捗状況の把握及び報告・公表

本計画を推進するにあたり、庁内関係課からなる連絡調整会議を開催し、本計画で掲げた事業の実績や進捗状況を把握するとともに内部調整をしてまいります。

市は、越谷市児童福祉審議会に本計画の進捗状況等について定期的に報告をするとともに、その内容を市民に対しても公表します。さらに、行動計画の推進や次世代育成支援の普及を図るため、市民の方が主体となって参加協議ができる仕組みづくりを検討します。

また、本計画（前期）の期間は、平成17年度から平成21年度までの5年間です。この間、事業の評価や進捗状況等の考察を行い、定期的に行う本計画の進捗状況等の報告や公表に対する児童福祉審議会や市民からの意見等を踏まえ、今後の事業の執行や後期計画（平成22～26年度）への反映を行います。